

学校だより

NO. 502

令和8年7月17日



品濃

横浜市立品濃小学校

電話 824-0651

FAX 826-2183

URL <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shinano/>

《学校教育目標》

大好き自分 大好きみんな とともに創る品濃の子

《令和8年度児童会スローガン》

しなのヒーローズ ～みんなでパワーアップ～



## いざ、夏修業へ

校長 針持 拓郎

学校だよりのタイトルロゴに、5人に増えた「しなのヒーローズ」を加えました。子どもたちの「ポジティブ」「スマイル」「あいさつ」「こつこつ」「メリハリ」を応援するキャラクターたちです。よろしくお願いいたします。

さて、令和8年度も3か月半が過ぎ、いよいよ子どもたち待望の夏休みを迎えます。暑さ厳しくなる時期ではありますが、ぜひ日頃はできない様々な体験を行うことで、子どもたちの心が豊かに育ってほしいと願っています。これは「どこかに出かける」とか「何か特別なことをする」ということだけではありません。朝8時に学校に来て、時間割に沿って学習活動を行う・・・といったような時間の制約がなく、1日の行動を自分で考えられるというだけでも十分に「非日常」の体験となります。いつもよりも自分の意思で使える時間が多くなる1か月、子どもたちはどんな過ごし方をするのでしょうか。

夏休みに、日頃よりもたくさん使える時間を利用して「自由研究」を行う児童もいるかと思います。または、これまでの学習内容の中で苦手な部分を克服しようと計画を立てているかもしれませんし、好きなこと・得意なことにとことん取り組んでみる、というような過ごし方もあるでしょう。AIの時代、大抵のことは（それが本当に正しいかどうかはともかく）質問すれば何となく答えらしきものが出てくる世の中になりました。そんな中で大切なのは、自分で興味や意欲をもち、何かやってみようとするを見出す力なのではないでしょうか。そして計画的に何かをやり遂げようと継続して取り組むこと、非日常の経験から何かを感じ、考えることは、夏休みという長い時間を自分で考えて使うからこそできる有意義な学びです。それは誰かに何かをしなさいと言われてやるよりも、相当に難しいことだと思います。

というわけで、学校の教育活動的には「休み」ですが、個々にとっては自分で学び自分で高める「修業」の期間となります。それは誰かに強制されるものではなく、自分の興味や思いに従って自分を高める自律的な学びです。もちろん、日々時間に追われる課業日ではないゆっくりとした時間と、気力・体力の休養は大切です。その上で、自らの経験を積み、感性を高める、そんな40日間であってほしいと思います。

8月27日、夏修業を終え、一回り大きくなった品濃小学校の子どもたちと会えることを楽しみにしています。



一・六年のペア学年で、西武東戸塚SCさんの七夕イベントに協力しました。